

立 候 補 者 広 報 1

《 理 事 立 候 補 者 》



渡邊 賢治

一般社団法人 TMG 本部

〈 立候補趣旨 〉

令和2年度より職能委員会担当理事として、また新型コロナウイルス感染症における在り方検討委員長と活動させていただきました。長期に及んだ新型コロナウイルス感染症により医療・介護現場では感染対策が強化され、サービス提供のあり方も大きな変化を求められました。

我が国では高齢者人口の増加、生産人口減少による各分野での担い手不足、そして共生社会にむけ誰もが活躍できる社会づくりなど様々な対応すべき課題が待ち構えております。この時代の流れに対して、我々理学療法士の役割も常に変化していかなければなりません。

この先も県民からの期待に答え続けていくためには、新しい時代のニーズに即したこれからの理学療法を「創造」し、我々の手で「構築」し、速やかに「展開」していかなければならないと感じております。このビジョンの実現に向けて組織力の強化、さまざま領域の方とも協働しながら取り組んで参ります。



阿久澤 直樹

医療法人瑞穂会 川越リハビリテーション病院

〈 立候補趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会役員選挙に立候補いたしました、医療法人瑞穂会川越リハビリテーション病院的阿久澤直樹と申します。私は現在までに、2期にわたり職能局の担当理事を務めさせていただいております。また、勤務先においては法人リハビリテーション部 地域活性化・職能教育サポート部門を担当し、地域現場での健康増進、介護予防活動や多職種連携活動と病院、施設と地域の橋渡しを目的とした教育サポート活動を行っております。

コロナ禍で、医療・介護・地域の状況が大きく変化いたしました、そして、今後はポストコロナといったフェーズに入っていきます。

本格的な少子高齢社会への移行、地域共生社会の構築、デジタルトランスフォーメーションに備え、埼玉県士会でも、継続的なブラッシュアップが必要と感じており、引き続き会員の皆様の一助となるよう士会活動に従事したく、立候補いたしました。皆様、何卒宜しくお願い致します。

立 候 補 者 広 報 2

《 理 事 立 候 補 者 》



杉本 諭

東京国際大学

〈 立候補趣旨 〉

私は 2021 年度より東京国際大学に勤務し、埼玉県理学療法士会に入会いたしました。以前より埼玉県の病院で臨床研究を続け、また高次脳機能に関する講習会を埼玉県で行っていたため、埼玉県理学療法士会には大変お世話になっておりました。5年前より日本理学療法士協会代議員を務め、協会の方向性などを把握できるように努力してきましたが、臨床現場からの声を聞くことが少なく、協会への要望の提案は行っておりませんでした。昨今の医療・介護報酬の改定、コロナ禍において、理学療法士の職場環境や待遇など、多くの点で改善を求めていく必要があると思います。今後は埼玉県の県民や理学療法士の皆様からの声を聞かせていただき、要望を協会に届け、これからの理学療法を背負って立つ若い理学療法士の皆様が、より充実感を持って仕事を行うことができるように、理事としてお手伝いさせていただきたく、立候補いたしました。よろしくお願ひいたします。



三宮 将一

社会医療法人社団 尚篤会 赤心堂病院

〈 立候補趣旨 〉

この度、埼玉県理学療法士会の理事へ立候補をさせて頂きました。
三宮（さんみや）と申します。
理事になってから広報局長としての役職に就かせて頂きました。
これからの超高齢化社会へ向かうにおいて埼玉県理学療法士会が担う役割は非常に大きく、特に会員向けへの士会活動の情報発信や一般県民向けへの「理学療法」に関する啓蒙活動など、役割は多岐に渡ります。
コロナ禍で士会の動きも大きく変わりました。その為に広報の仕方も変化しています。
今後は、引き続き士会会員や県民の方々を含めまして幅広い「理学療法士」の活動についての情報発信や啓蒙活動が出来ればと考えています。
理学療法士は若い世代で構成されています。
未来へ向けて埼玉県理学療法士会をさらに飛躍が出来る担い手になればと思い、今回の理事へ立候補を致しました。
引き続き、埼玉県理学療法士会の理事として皆さまの役に立たせて頂ければと思います。
どうぞ、宜しくお願ひ致します。

立候補者広報 3

《理事立候補者》



田口 孝行

埼玉県立大学

〈立候補趣旨〉

近年、日本理学療法士協会による生涯学習制度による登録理学療法士および認定・専門理学療法士の称号取得のための規定講習会や試験が整備されています。また、理学療法士作業療法士指定規則改訂によって、臨床実習指導者や理学療法教員として後輩育成に関わるための要件も整備されてきております。これまで、理学療法士の質向上の必要性が言われてきましたが、その具体的な対策が実行に移されてきております。このように変化が著しいなかで、これまで本会副会長として、主にこれらに関わり、会員の皆様との情報共有や事業実施に努めてきました。今後、会員の皆様がこのような制度等をフル活用して理学療法士の質向上を目指せるよう、皆様と一緒に考える（公社）埼玉県理学療法士会の活動に寄与して参りたいと思ひ、（公社）埼玉県理学療法士会・理事に立候補致しました。



兵頭 甲子太郎

目白大学

〈立候補趣旨〉

私は 2021 年度より 2 年間、埼玉県理学療法士会の学術局長として働かせていただきました。その間、研究補助金事業や県士会学術雑誌の発行など、様々な面で県士会員の皆様にお力添えをいただきましたことを感謝申し上げます。研究補助金事業では、応募者の増加に伴う補助金予算の拡大や厳正な審査方法の構築について部員の皆様と取り組んで参りました。また、2023 年度には新たな研究推進事業として、研究に興味のある県士会員の皆様を募り、研究サークル事業を計画しております。日々の臨床での疑問点の解決や、理学療法分野を発展させていくために、研究推進は必要不可欠なものと考えております。今後とも、皆様のお力添えをいただきながら、埼玉県理学療法士協会の学術発展のお手伝いをさせていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

立候補者広報 4

《理事立候補者》



赤坂 清和

埼玉医科大学

〈立候補趣旨〉

こんにちは。埼玉医科大学の赤坂清和でございます。これまで、埼玉県理学療法士会の理事として通算で7期14年間、広報局、事業局、学術局、教育局において局長を担当させていただき、それぞれの立場にて成果を出して参りました。また、埼玉県理学療法士会の代表として、日本理学療法士協会代議員を務めさせていただき、理学療法士の全国的な団体としての活動についても注視しています。現在、多くの医療機関や理学療法の臨床では、Covid-19による影響を受けていることに加え、診療報酬や理学療法士養成教育、新生涯学習、学会の法人化と理学療法学の学術の推進など多くの新しい課題を抱えている状況であります。これらの諸問題に対して微力ではありますが、皆さまからのご指導ご鞭撻をいただきながら、課題の解決に向けて取り組んで参りたいと考え、2023年度本会役員選挙において理事に立候補させていただきました。引き続き、よろしくお願い申し上げます。



木村 佳晶

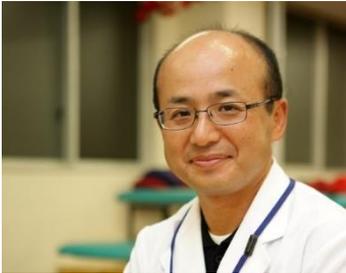
合同会社アグリハート

〈立候補趣旨〉

この度、(公社)埼玉県理学療法士会役員候補者選挙に立候補しました、合同会社アグリハートの木村佳晶です。過去、職能局部員として活動をさせていただきました。現在は公的保険以外の領域で活動をしています。主な業務としては、ヘルスケア領域に参入を考えているヘルステック企業の伴走支援、自治体の保健活動アドバイザー、起業家支援、医療介護事業所の運営支援です。様々な領域の方々と仕事をしていますが、理学療法士はもっと自分たちの領域を飛び越えて活躍するポテンシャルを持っています。自分たちだけの職域だけではなく、他の医療福祉職とも連携しながら、地域や自治体の健康福祉に貢献できる職域拡大モデルを埼玉県で、多くの会員さん、役員さんと共に構築できればと考えています。既存事業の更なる発展と、新たな取り組みへのチャレンジをしていきたいです。皆様のお力添えのほど、何卒よろしくお願いいたします。

立候補者広報 5

《理事立候補者》



南本 浩之

春日部厚生病院

〈立候補趣旨〉

この度、埼玉県理学療法士会理事に立候補致しました南本浩之です。理事として6年間、会長として6年間、様々な取り組みを行ってまいりました。

会員皆様の意見聴取に基づく士会運営システムを構築し、理学療法の新たな専門領域への教育体制の強化、学術への自己研鑽の奨励として学会参加費の軽減や研究支援制度の強化、地域包括ケアシステム推進のため他団体との連携強化、職能向上のため政策検討組織の構築、会員福利厚生強化として育休休会者会費無償化など、会員の意見による、会員のための運営が出来るよう取り組んでまいりました。

今後も会員の皆様と一緒に理学療法（士）が、さらに発展していけるよう士会の運営を会員の声の下、変革推進に努めていくとともに、社会課題の解決に取組み、職能団体として県民の皆様の医療・保健・福祉の増進に寄与する団体として邁進していきたいと思立候補をさせていただきました。皆様何卒よろしくお願いたします。



櫻場 勝

医療法人社団協友会 吉川中央総合病院

〈立候補趣旨〉

2期4年、東部ブロック理事として務めさせていただきました。新型コロナウイルスが蔓延する中、WEBでの研修や、交流会議などの開催を通してブロック内の横なつながりの強化に努めてまいりました。ブロックの活動は将来的には市町村単位の活動になっていくと考えております。再任の際にはエリアを細分化し、近隣の施設の理学療法士と顔の見える関係を作っていきたいと考えております。さらには一般県民向けの公開講座や、各地の市民祭りへのブース設置などを通して理学療法の啓発を行なっていきたいと考えております。

立候補者広報 6

《理事立候補者》



馬崎 昇司

医療法人真正会 霞ヶ関南病院

〈立候補趣旨〉

この度、理事に立候補しました馬崎昇司（ばさきしょうじ）と申します。川越市の霞ヶ関南病院にてリハビリテーション部長を務め、入院・在宅の臨床と管理業務を兼務し法人の組織運営に従事しています。

当会では、2006年より西部ブロックや職能局医療保険部にて活動し、その後2012年より埼玉県理学療法学会にて準備委員長、相談役、評議員を4年間務めました。

職場では、教育も含め年代を問わず地域リハ活動に従事できる体制を整備し、2022年度は延べ500名超が参加。さらに、県内6施設ある認定理学療法士の教育機関の1つを担い、講師陣の育成にも力を注ぐなど、楽しさと手応えを感じながらキャリアアップが目指せる組織を構築しています。

理事として、当会2023年度重点目標の「生涯学習の推進」「会員相互のつながり（人的ネットワーク）強化」に尽力し、理学療法の質向上、楽しさの共有、魅力ある職業への発展を目指し、若い会員とともに歩んでいきたいと考えています。



岡持 利亘

医療法人真正会 霞ヶ関南病院

〈立候補趣旨〉

これまで職能担当副会長として、職能局長と各部長（医療保険部・介護保険部・業務推進部・地域包括ケア推進部）と協力し、職域拡大に役立つよう、研修会や情報交換の場づくりを実施してきました。

また、県・医師会・県内の医療介護の関係多団体と共に、市町村の地域包括ケアを推進する地域リハ活動に取組み、多くの会員に参加していただいています。

県内のリハ三職種協働を進める埼玉県リハビリテーション専門職協会の運営にも協力し、県および市町村と共に、医療・介護保険以外にも、地域で安心して暮らし続けられる基盤づくりを進めつつ、そこに協力できるリハ専門職の輪を拡げていきたいと願っています。

今後は、埼玉士会・協会・埼玉連盟の役員とも連携し、さらに地域リハビリテーションを充実させる取組みを継続していきたいと希望しており、引き続き当会理事として、微力ながら貢献できればと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

立候補者広報 7

《理事立候補者》



高野 大智

社会医療法人 至仁会 圏央所沢病院

〈推薦理由〉 吉川 貴矩（医療法人 尚寿会 大生病院）

私は、高野大智 氏を推薦いたします。

県士会の会員数も約5,200名を超え、事業の内容は多岐にわたっています。

会員数の増加だけでなく、コロナ過での活動、団塊の世代が75歳以上となる2025年問題など、医療や介護に携わっている理学療法士の働き方も変化が求められています。

そんな多岐にわたる県士会の運営、変化が要求されている環境では、県士会のより強固な組織力を構築していく必要があると感じています。私たちは長年にわたり、所沢市のみではなく、西部圏域の地域活動を支え、行政の方や市民としっかりと関係を構築して活躍されてきました高野大智氏を理事に推薦いたします。

高野氏はこれからの県士会の事業に尽力すると共に、西部ブロックで顔の見える関係づくりを更に深めてくれると思います。推薦者一同自信をもって推薦させていただきます。

（推薦者）吉川 貴矩（医療法人 尚寿会 大生病院）

長島 秀幸（医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院）

横山 秀則（医療法人社団 医新会 介護老人保健施設 縄文の里 長瀬倶楽部）



渡邊 雅恵

さいたま市立病院

〈立候補趣旨〉

この度理事に立候補しました、さいたま市立病院の渡邊雅恵と申します。2006年から2010年までは復職支援システム検討委員会委員長を務め育児で職場から遠のいていた理学療法士がスムーズに復職できるような活動をおこなっていました。2011年から2018年までは理事で事業局長、副会長を務め主に理学療法士の啓蒙活動を中心におこなってきました。2020年からはブロック担当副会長が新設され就任し、東西南北ブロック間の情報共有等行い足並みを揃える活動、また、ネットワーク構築に向けてブロックで交流会や交流会議に力を入れ、会員の方々を県士会活動に参加していただくような活動をブロックの方々と検討をおこなっていました。今期も魅力ある県士会について検討し如何に会員の方に県士会活動に参加していただけるか、また、ブロックでのネットワーク構築についてブロック理事や委員の方々と共に検討したいと思っております。よろしく願いいたします。

立候補者広報 8

《理事立候補者》



水田 宗達

埼玉県総合リハビリテーションセンター

〈立候補趣旨〉

公益社団法人埼玉県理学療法士会事務局長として10年間、副会長として6年間、士会活動に参加し貴重な経験をさせていただきました。いつでも士会運営が円滑に進むように事務員雇用、規程の整備、弁護士との顧問契約、遠隔会議システムやグループウェアの導入、会員管理など事務局としての活動を中心に取組んで参りました。今後も県民からの理学療法士への期待が一段と高まっていく中で士会活動が活発化し、理学療法（士）の質向上、理学療法（士）専門性の向上、組織運営の強化が益々重要になってくると思われます。会員の皆様からの意見を取り入れながら、今までの経験を活かして、会員の皆様が入会してよかったと思える強い組織を作り、県民の期待に応えていきたいと思っておりますので何卒宜しくお願い致します。



原田 慎一

リハビリテーション天草病院

〈立候補趣旨〉

(公社)埼玉県理学療法士会理事に立候補しました、リハビリテーション天草病院の原田慎一と申します。平成21年度からインターネット管理部長、平成29年度から広報局長、令和2年度から広報事業担当副会長として、当士会内の各部局・委員会や、日本理学療法士協会、埼玉県の他団体と協業しながらWEB関連事業、理学療法の日関連事業、広報紙発送事業等について携わってまいりました。今後も組織強化に向けた取り組みの一環として会員の皆様との情報共有や情報取得の利便性向上の推進や、県民の皆様への効果的な広報として各年代層を考慮した広報手段の実施など、これまで皆様から頂いたご意見を踏まえながら実施していきたいと考えております。改めて当士会に求められているものが多岐に渡り、その社会的役割の重要性を認識しております。その役割の一端を担うため、今後も微力ながら士会運営に携わっていききたいと思っております。ご支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。

立候補者広報 9

《理事立候補者》



菊地 裕美

介護老人保健施設 一心館

〈立候補趣旨〉

2025年を目前に、住み慣れた地域で自分らしく、生き生きとした生活を最期まで送れるようにするための対策が進んでいます。理学療法士が地域に期待され、活躍できる大きな役割がたくさんあります。そこで、さまざまな生活課題を解決していくためには、私たち理学療法士が取り組むことができる事を個人の強さだけでなく、大きな組織として力を合わせて取り組んでいく必要があります。私は埼玉県理学療法士会において、健康増進部をはじめ、地域包括推進部、災害対策委員会（委員長）として携わってきました。また、業務での訪問リハビリでは”地域および生活課題“に直接的に関わる機会が多く、地域を元気にする実践的経験を積んでいます。これらの経験を活かし、地域住民の暮らしに寄り添うこと信念に、皆さんと一緒に強い組織力のある理学療法士組織を目指したいと思い、(公社)埼玉県理学療法士会・理事に立候補致しました。



横山 浩康

社会医療法人 熊谷総合病院

〈立候補趣旨〉

私はこれまで北部ブロック理事や第28回埼玉県理学療法学会会長、財務局長など様々な役職を拝命し、埼玉県理学療法士会に携わってきました。

近年、理学療法士数は増加の一途を辿っています。少子高齢化の情勢から理学療法士数が増加し社会問題への対応においては心強い傾向であると考えます。理学療法士数の増加と同時に社会の構造も変化しています。その変化の一つに、人的資本という考え方もあり、我々理学療法士が働く医療や介護現場は、労働集約型産業に含まれます。この人的資本の評価への対応は未だ課題をクリアしている状況でないと認識しています。

この状況に対しては、埼玉県理学療法士会会員が一丸となって乗り越えることが肝要であると考えています。私のこれまでの経緯から、埼玉県理学療法士会会員のつながりを大切にしながら、諸問題について会員の皆様と成長しながら解決に向かう一助になりたいと思い立候補した次第であります。

立 候 補 者 広 報 1 0

《 理 事 立 候 補 者 》



米澤 隆介

北里大学メディカルセンター

〈 立候補趣旨 〉

北里大学メディカルセンターの米澤隆介と申します。私は南部ブロック県央エリア長として4年間努めてまいりました。その中で、埼玉県民の健康と福祉の向上のためには、理学療法士による地域の連携が重要であることを実感いたしました。埼玉県理学療法士会南部ブロックとして取り組まれてきた事業をさらに充実させるとともに、南部ブロックで従事されている会員の皆様において横のつながりを一層強めることにより、理学療法士による県民に対する社会貢献を高めていきたいと考えています。また、コロナ禍も開ける兆しが見え始めたなかで、今の時代に合ったネットワークの構築についても積極的に新しい提案をおこない、実践していきたいと考えています。宜しくお願いいたします。



平野 輝利人

行田中央総合病院

〈 推薦理由 〉 真下和貴（株式会社和ーうちリハグループ）

私は、平野輝利人 氏を推薦いたします。

長期に渡り北部ブロックの運営委員として活動が続けております平野氏は、積極性があり行動力に関しても非常に高いものがあります。現在、東松山エリア長を担ってっていますが、エリアの運営委員の力を上手く生かしながら事業を進め市町村との結びつきを深めてくれています。ブロック理事として理学療法士の横の繋がりを強化する為にも平野氏はうってつけの人材です。北部ブロックを牽引し、更なる飛躍を目指すため平野氏ならその期待に答えてくれると思います。

(推薦者) 真下 和貴 (株式会社和ーうちリハグループ)

横山 浩康 (熊谷総合病院)

飛田 英樹 (埼玉慈恵病院)

立 候 補 者 広 報 1 1

《 監 事 立 候 補 者 》



矢野 秀典

目白大学

〈 立候補趣旨 〉

この度、監事に立候補させていただきました矢野秀典です。

今まで、神奈川県理学療法士会、宮城県理学療法士会、埼玉県理学療法士会と3つの県士会において理事として活動してきました。本会は、公益社団法人として、多くの県内理学療法士および県民のみなさまの活動を下支えしていくことが使命です。この間の私の経験が、本会会員、特に近年急増する本会の若い理学療法士の皆さまに対して、活かせるのではないかと考えます。宜しくお願ひ申し上げます。



清宮 清美

埼玉県総合リハビリテーションセンター

〈 立候補趣旨 〉

私は1999年に理事に就任し、2011年～2016年度の間は会長として、2017年度より現在までは監事として埼玉県理学療法士会に携わらせていただきました。その間、法人法改正により公益社団法人を取得して活動する埼玉県理学療法士会を運営、見守りしてまいりました。前期は、新型コロナウイルス感染の影響で活動が制限されても、会員の理学療法士としてのスキルの向上や県民の方々への保健医療の普及活動を継続するため、理事会は試行錯誤していました。次年度もまた、社会情勢に合わせて事業計画を立てています。私は監事として継続して会に貢献したいと考え、立候補いたします。